

令和5年4月13日 発表

中札内村立診療所における、有効期限切れおたふくワクチンの接種事案発生について、  
当院からお詫び

中札内村立診療所において、令和5年2月13日、2月16日、4月3日におたふくワクチン接種を受けた乳幼児3名に対し、メーカーが定める有効期限を過ぎたワクチンを接種した事案が発生しました。

ご本人様・ご家族様、関係者の皆様、地域の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

事案の判明後、ご家族様へ謝罪と状況説明を行うとともに、健康状態を確認し、健康被害が発生していないことを確認いたしました。

今後も健康状態の確認継続と併せて、状況に応じておたふくワクチンの追加接種をご家族様と相談の上で検討させていただきます。また、他の乳幼児への予防接種については、適切に実施していることを改めて確認いたしました。今回の事態を厳粛に受けとめ、二度とこのようなことを起こさぬよう、運用や管理方法を見直し、再発防止策を講じて適切なワクチン接種に取り組み、ご本人様・ご家族様ならびに地域の皆様の信頼回復に全力で努めてまいります所存です。

#### 1. 概要

2023年2月13日/2月16日/4月3日に、有効期限が2023年2月8日を過ぎた  
おたふくかぜワクチンを、乳幼児3名に対して誤って接種したものを。

#### 2. 原因

- ・ 予防接種主担当者が今年を「2022年」だと思い込んでおり、  
在庫管理の際に「2023年2月8日」の期限を見て、「来年まで」の期限のワクチンであると勘違いしたこと。
- ・ ワクチンの接種前において、使用期限の確認を怠ったため。

#### 3. 今後の対応

継続的な経過観察と、状況に応じたおたふくワクチンの追加接種の検討

#### 4. 再発防止策

- ・ 保管するワクチンの有効期限の適正管理についてのフローの見直し
- ・ 在庫管理チェック時のみならず、ワクチン準備時や接種直前時等のあらゆる時点で有効期限についてのチェックを重ねる

上記2点において、安全管理を徹底し事故防止の強化を図ってまいります。

中札内村立診療所  
所長 高石 恵一